郡築園芸部会トマト栽培基準及び栽培履歴管理表（中嶋農法栽培）

JAやつしろ郡築園芸部会　平成25年8月1日

生産者代表	品目（品種）
稲田　寿雄	桃太郎トマト・りんかトマト

産地	栽培面積	土壌診断日
熊本県八代市郡築	33ｈａ	7月5日
栽培基準	播種日	定植日
減農薬・減化学肥料栽培	7月中旬	8月下旬

7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	播種		堆肥投入		定植	黄色灯点灯	ラノテープ設置	マルハナバチ入庫	ビニール被覆	収穫開始					黄色灯風景															防虫ネット					
			★		★		★		★		★		★		★				★			★			★			★			★				

産地特徴

私たちの住んでいる八代市郡築は熊本県の中央に位置し、八代海に面した干拓平野です。 約100年程前は海の底だった事で、天然の塩分、海藻やカキ殻のミネラルを豊富に含んでいて、江戸時代から造成されてきた干拓地の中でも３番目に新しい農業地帯です。
気候は1年を通して温暖で球磨川の清流を資源に工業も盛んで農業と共有する町です。八代市の人口は15万人です。

★グリーンセーフ施用

施用日	作業工程	希釈倍率
8月	育苗期	1000倍
8月下旬	定植期	1000倍
9月中旬	3段開花期	800倍
10月上旬	5段開花期	600倍
10月下旬	7段開花期	600倍
11月	9段開花期	600倍
12月以降	月に１回	600倍

今年度防除計画

散布日	薬剤名	使用上限回数	希釈倍率	散布量(10ａ)	対象病害虫名
播種期	ベストガード粒剤	１回	5ｇ/培土1ℓ	2.0～2.5ｋｇ	アブラムシ類
育苗期	カスケード乳剤	４回	2000～4000倍	50ℓ	ハモグリバエ
〃	チェス粒剤	１回		2.0～2.5ｋｇ	タバココナジラミ
定植期	黄色灯	—	—	—	夜蛾類
〃	スタークル粒剤	１回	1ｇ/株	2.0～2.5ｋｇ	ハモグリバエ・コナジラミ
９月上旬	カウンター乳剤	４回	2000倍	100～200ℓ	コナジラミ
９月中旬	ベストガード水溶剤	３回	1000倍	〃	コナジラミ・オオタバコガ
〃	ダコニール1000	４回	1000倍	〃	疫病
９月下旬	アファーム乳剤	５回	2000倍	〃	ハモグリバエ・オオタバコガ
〃	ランマンフロアブル	４回	1000～2000倍	〃	疫病
１０月上旬	サンマイトフロアブル	２回	1000倍	〃	タバココナジラミ
〃	ドイツボルドー	—	500倍	〃	斑点病・葉カビ病・疫病
１０月中旬	プレオフロアブル	２回	1000倍	〃	ハモグリバエ・オオタバコガ
〃	ベルクート水和剤	３回	3000～6000倍	〃	灰色カビ病・葉カビ病・疫病
１０月下旬	粘着くん＋マイコタール	—	100倍・1000倍	〃	コナジラミ
〃	カスミンボルドー水和剤	５回	1000倍	〃	疫病・斑点細菌病・葉カビ病
１１月上旬	粘着くん＋マイコタール	—	100倍・1000倍	〃	コナジラミ
〃	ボトキラー水和剤	—	1000倍	〃	灰色カビ病・うどんこ病
１１月下旬	エスマルクＤＦ水和剤	４回	1000倍	〃	オオタバコガ
〃	セイビアフロアブル	３回	1000～1500倍	〃	灰色カビ病
１２月中旬	インプレッション水和剤	—	500倍	〃	葉カビ病
１２月下旬	ゲッター水和剤	５回	1000～1500倍	〃	灰色カビ病
１月中旬	粘着くん＋チェス水和剤	—・３回	100倍・3000倍	〃	コナジラミ
２月上旬	フルピカフロアブル	４回	2000～3000倍	〃	灰色カビ病
３月上旬	ロブラール水和剤	３回	1000倍	〃	灰色カビ病
〃	アファーム乳剤	５回	2000倍	〃	ハモグリバエ・オオタバコガ
４月上旬	トップジンM水和剤	５回	1500倍	〃	灰色カビ病
〃	サンマイトフロアブル	２回	1000倍	〃	タバココナジラミ
熊本県慣行基準農薬成分回数				６８回	
郡築園芸部会防除計画の農薬成分回数				４７回	
農薬成分回数削減割合				３０％以上削減	

土壌改良及び施肥計画（10a）

施用日	品名	成分	数量(kg)
土壌改良			
8月上旬	ミネパワー	微量要素含有	15kg
施肥			
8月上旬	アミノ酸入りバーク堆肥	0.8—0.2—0.2	3,000ｋｇ
	はちべえ有機	5—3—5	160ｋｇ
	ポイントＶ２	7—4—8	50ｋｇ
追肥			
10月中旬	ポイントＶ２	7—4—8	40ｋｇ
12月中旬	アミノファンタジー	7—5—7	40ｋｇ
2月中旬	ポイントＶ２	7—4—8	40ｋｇ
3月中旬	ポイントＶ２	7—4—8	40ｋｇ
熊本県慣行基準科学肥料窒素成分量			30ｋｇ
郡築園芸部会施肥計画の科学肥料窒素成分量			14.7ｋｇ
科学肥料窒素成分量削減割合			50%以上削減

商品・品種特徴

トマト、ミニトマトの栽培方法に中嶋農法を部員全員で取り組みをすることで、生命の活動に不足がちな微量要素を補い植物の本来の能力を最大限に生かし根毛の発生を旺盛にする事で、トマトの日持ちが良くミネラルタップリの美味しいトマトになります。郡築集荷所から出荷するすべてのトマト類は安全で美味しいトマトとして賞味されています。また、黄色灯導入でやつしろトマト『はちべえ』の取組みも同時に行う事により、最大限に農薬を減らしたトマトは、安心して消費者の皆様に買ってもらえると思います。

総生産量

４，０００ｔ

出荷期間

10月中旬～5月中旬

輪作体系

前作【水稲】：跡作【メロン】

丸トマト栽培者数：37名
熊本県エコファーマー認定（平成13年）
【認定番号】 第0108082～0108143号

中嶋農法とは…？

中嶋農法とは、理学博士の中嶋常允氏が提唱する作物の栽培方法で、土壌診断を基本にミネラルバランスに着目した土づくりと、生育コントロール技術を駆使し、美味しくて安全な農産物を作る優れた農法です。

栽培責任者　JAやつしろ郡築園芸部 部長 稲田　寿雄
住　　所　熊本県八代市郡築6番町46-1番地
連 絡 先　0965-37-0099
確認責任者　JAやつしろ郡築園芸部
住　　所　熊本県八代市郡築６番町46-1番地
連 絡 先　0965-37-0099

★印はグリーンセーフの施用時期
※グリーンセーフは海水から抽出した『超微量ミネラル』を豊富にバランスよく配合した、植物の生命力を活性化させるのに欠かすことができない天然成分の資材です。